

2024年8月30日 第3482回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉 唱> 「それこそロータリー」

<会長報告> *第2回理事役員会 報告

*ガバナー事務所より

・インターアクト委員会/移動アクターズミーティング開催のご案内について

9月14日(土) 13:00~13:30 IAミーティング

14:00~17:00 移動アクターズミーティング

場所: 逗子開成中学校・高等学校 海洋教育センター

・地区ローターアクト委員会のご案内について

9月15日(日) 13:00~ 委員会 場所: 第一相澤ビル8F「会議室」

・米山研修一泊旅行のご案内について

9月21日(土) 13:30 集合 小田原駅西口、14:00 観光バス乗車

・第2780地区The Polio Plus Society参加申込みについて

・2024-25年度国際ロータリー ゾーン1A、2&3

第53回ロータリー研究会ご案内および登録について

12月12日(木)~15日(日) 会場: パシフィコ横浜 会議センター

<幹事報告> *2023~2024年度年間活動報告書の配布について

<出席報告> *出席委員会 角井副委員長より8月30日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
116名	106名	74名(4名)	32名	1名	70.75%

メイクアップ: 小林(一)会員 横須賀RAC 出席

<ニコニコ報告>

- ・三 役 本日の卓話は、中期ビジョン策定を経て国際奉仕委員会による「ネパールの給水環境と衛生改善の現状」を共有します。報告の皆様どうぞ宜しくお願いします。
- ・大石、児玉、荊山、椿、長島、澤田、権田、八木、梁井、萩原、森、谷、八巻、江口、松本(明)、鈴木(豊)、鷺尾、田中、竹株、前田、斎藤(勲)、平松、三堀、前川、小佐野、山下、長尾、鈴木(剛)、藤村、田邊、上林、物井 各会員
本日の卓話は国際奉仕活動についてです。明るく楽しい活動に繋がっていきたいですね。岡田英城会員、植田会員、エノラ会員、ロクナト会員、加藤淳会員どうぞよろしくお願いいたします。
- ・加藤(勲)、植田、Loknath、岡田(勲) 各会員 本日の卓話にて「国際奉仕活動について」会員の皆さまにお知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・齋藤(勲) 地区米山委員長 米山委員会からのお知らせです。9月21日(土)・22日(日)に米山一泊旅行を開催いたします。会長、幹事、カウンセラー、米山委員会の皆様是非ご参加ください。
- ・齋藤(勲)、鈴木(剛)、根岸、岡田(勲)、前川、鈴木(剛)、高橋 各会員
本日のタウンニュース横須賀・三浦版に平松会員が「全信協会長」にご就任された記事が掲載されています。ますますのご活躍を期待しています。
- ・角井、石田、杉浦、大石、植田、柴田、梶木、八巻、上林、高橋、瀬戸、鈴木(豊)、寺田、鈴木(剛)、吉田(剛)、浅葉 各会員
本日のタウンニュース横須賀・三浦版の「人物風土記」欄に竹株会員の記事が掲載されています。最近のメルキュール快進撃の立役者！ガンバレ株ちゃん！！
- ・野坂 会員 竹株会員のご好意で、祖父や父の時代の「横須賀写真館」の写真展をメルキュールホテ

ルで開催しています。旧日本軍の写真や戦後の本町の様々な風景などぜひ一度、来て見て下さい。

・木村、小平、高橋、三井 各会員 台風や地震など自然災害が増えています。正確な情報を確認しつつ早めの防災対策で命を守る行動を心掛けたいですね。

・石田、高橋、江沢、比護、小山(夨) 各会員

昨日「42本塁打、42盗塁」を達成した大谷選手の勢いは止まりません。史上2人目の快挙だそうです。デコピンの始球式にも癒されましたね。

<卓 話> 「国際奉仕活動について」

国際奉仕委員会 岡田(英)カウンセラー
元中期ビジョン特別委員会委員長 植田会員
国際奉仕委員会 Enora会員、竹株会員、Wosti会員
国際奉仕委員会 加藤(淳)委員長

1. 国際奉仕活動の検討経緯について 岡田(英) 会員

本日の卓話では、ネパールの話などについて各メンバーが話しますが、最初に国際奉仕活動の検討経緯について説明をさせていただきます。2020年に私が会長を務めさせていただいたときに、中期ビジョンを作成させていただきました。企業で言えばビジョンを策定して事業計画を立ててPDCAを回して企業を成長させるということだと思います。国際ロータリーもクラブでビジョンを立ててクラブを成長させることを私が会長になる前に推奨していました。その中で、2780地区では横須賀ロータリークラブが最初にビジョンを策定させていただき、毎年それにならって3年間中期ビジョン委員会で活動をしてきました。

企業は株主・取締役・従業員などの構成ですが、RCは会員の会費で成り立っているため、会員の意見を丁寧に掘り出して集約することとしました。3年間で計5回の情報セミナーにおいて五大奉仕を切り口に皆様のご意見を伺いました。その中で国際奉仕について、横須賀と友好関係にあるネパールについて様々な意見が出ましたので、本日はその内容を発表させていただきたいと思います。昨年、Enora会員は財団委員長でしたのでそれを受けての本日の発表となります。

横須賀RCの事業にふさわしいかなど深く検討することが重要だと考えております。3年間意見を聞いたうえで、中期ビジョン委員会は発展的解消をし、国際奉仕委員会に落とし込んで検討していくという流れです。皆様からの大切な会費と労力をかけることとなりますので慎重に進めようとしております。

国際奉仕委員会の活動も活発となっており、全員が参加することが出来、自己満足で終わらず、効果の確認方法なども検討が始まっております。様々な可能性について話し合っています。本日の登壇者の卓話を楽しみにしてください。

2. 国際奉仕活動の検討経緯について 植田 会員

国際奉仕活動の検討に至った経緯をご説明させていただきます。

まず、岡田(英)会長年度で「中期ビジョン」を策定しました。「中期ビジョン」は、当時の岡田会長、八巻エレクト、前田ノミニと特別委員会で素案を作成し、例会の卓話の場でご説明させていただき、理事会で承認いただき、最終的には岡田会長年度の最終例会の場で皆様にご承認をいただきました。

「私たちは、地域社会や世界が変化する中、大切にしたいことを感じ取り、多くの人々と出会い、奉仕の輪をひろげ、豊かな魅力ある社会を育てる」

この中期ビジョンについて、僕らは共有をしなければならない、自己を感じて他人も認識をし、相互認識を行わなければならない、その中でクラブを成長させるため、それぞれどう考えるのだろうか、豊かな社会、大切にしているものって何なのか、といったことを八巻会長年度では情報集会を2回行って様々な角度から深堀してきました。前田会長年度では、具体的な戦略計画の策定について、理事会での承認後、情報集会で五大奉仕について10テーブルでディスカッションしました。各テーブルの司会者、ファシリテーターは、歴代の会長にお願いをして、後日、集まっていたいて、どうまとめるかを議論し、国際奉仕を含む五大奉

仕に基づいた形で戦略計画を列挙していただきました。藤村会長年度では、より多くの人に取り組むことができるような奉仕活動、地区補助金、グローバル補助金について考えるきっかけを作り、より多くの人が参画する、というような仮題をいただいて、ロータリー情報研修委員会とともに情報集会を行いました。その時の各テーブルの記録を基に報告書を作成して理事会に提出をしました。グローバル補助金については、皆が参画できるような形をしっかりと準備していこうという意見が多く上がっていました。

具体的な補助金事業としては、先ほど岡田(英)会員からお話があったW o s t i会員をキーとしたネパールでの「水の衛生」に係る事業をしっかりと調査をして取り組んでいきたいという意見が非常に多かったです。この結果についても、地区補助金事業と同様、理事会に報告、提出させていただきました。

このような形で検討されてきた中で、国際奉仕活動をどう考えていくかについて、現在加藤委員長の下で検討されているところです。

3. ネパール視察について

Enora会員(通訳:竹株会員)

皆さんこんにちは。今日は皆さんに、今年初めにネパールへ視察に行き、チトワンRCとの会合とその地域を巡った時の体験について共有させていただきます。今回の旅の目的は、チトワンRCの紹介、地域社会の人道的ニーズについて、また親睦活動を深めチトワンRCの人道的活動について学ぶこと、親善と友情を築くことです。

1日目、カトマンズ空港に到着するとネパール軍の代表の方が特別にエスコートして税関を通してくれました。また、W o s t i会員が迎えてくださり、その後チトワン地方バトプル市へ飛行機で向かいました。飛行機の中から見えるヒマラヤ山脈はとても素晴らしく感動しました。空港に着くと多くのチトワンRCの皆さんが私たちを迎えてくれ、本部にも行きました。その後、現地の中学校に行き、大地震で被害を受けた中学校の建物をRCの方々が修復したプロジェクトのお話を聞かせていただきました。次に、チトワンRCにより建設中の脊椎リハビリテーション・クリニックを見させていただきました。この地域には脊椎の手術後のサポートを受けられる施設が無く、この施設が開業したらサポートを受けられるようになるそうです。クリニック見学後は、チトワンRCの方が経営するホテル兼レストランで素敵なランチを楽しみました。ランチの後は、チトワン国立公園へ車で向かい、野生の動物を直に見学することができました。夜はカルチャーエンターテイメントのショーを見ることができ、親睦を深める素晴らしい夜を過ごすことができました。

2日目は、ヒンズー教の聖地に位置している老人ホームに行きました。温かく歓迎していただいて、スカーフのプレゼントをいただきました。この老人ホームはチトワンRCの方が建てたもので、日本でいう老人ホームというよりは、生活保護などサポートが必要な方が入居される施設になっているそうです。生活環境はシンプルですが、とても快適に見受けられました。私たちはランチを提供して入居者の方々と交流を深めました。また、こちらのホームでは、毎日120名以上の入居者以外の地元の方々にもランチと夕食を提供していました。次に、チトワンRCが現在取り組んでいる水のプロジェクトの対象として3~16歳の生徒1200人が通う学校を視察しました。政府の資金援助により井戸の設置は叶ったのですが、それ以降の水道システムのろ過装置の設置ができておらず、現在、生徒さんは水道があっても水を飲む事ができません。もう一つ、3~10歳の生徒150名が通う学校を視察しました。こちらは、十分な水の供給がない施設で、こちらもチトワンRCが支援するプロジェクトの一つになります。チトワンRCは、私たちにこのプロジェクトの支援を求めています。このプロジェクトについて詳細な情報が必要です。

W o s t i会員がネパールでどんな生活をされているか皆さんもご興味があるかと思いますが、お宅とお庭にお邪魔させていただきおもてなしを受けました。最後に、飛行機に乗る前にチトワンRCの方々と会合の場を持ちまして記念品を贈り、バナーの交換をさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。

4. ネパールの状況について

W o s t i 会員

皆さんこんにちは。皆さんご存知だと思いますが、ネパールは日本が大好きな国です。ネパールの王様と日本の天皇陛下とはとても仲が良いです。今の天皇陛下も、何回もネパールにトレッキングなどにいらっしやっています。

私は、ネパールのゴルカという山で生まれ、6、7歳の時には2時間ぐらい山を登って学校に通っていました。水も無い環境でした。最近では水がありますが非常に汚い水です。しかし、ネパールの人は水が汚いということが全く分かっていません。私も日本に来て、ネパールの水と比べて驚きました。ネパールの5~1

0割ぐらいの人たちは、お金持ちで家を持っていて仕事をしている世帯であり、何とか水を飲んでいますが、日本のようにきれいな水ではないです。今、ネパールでは、RCの支援や国の予算で病院や学校を建てていますが、きれいな水を安定供給できる環境がないのです。汚い水を飲んで病気になって亡くなる子どもたちも多く、まだまだ「水の衛生」が乏しい環境です。

私は、15年ぐらい横須賀に住んでいて、たくさんの方々にお世話になり、少しずつですが仕事ができるようになりました。私も皆さんと一緒にいろいろ協力させていただきたい。私の祖父は村長をしていて、ネパールで様々なサポートをしていたので、私も続けて何かサポートをできたらと思い、皆さんにお願いさせていただいております。なぜネパール、なぜバラトプルかという、横須賀に働き手がいなくて困っている仲間も多いことを知り、ネパールで大学を卒業しても仕事が無くて困っている多くの人たちと何とかマッチングできればお互いに良くなれないかと思い、いろいろと頑張っているところです。先日は横須賀市とバラトプル市が姉妹都市になるため、いろいろと協力しました。

ネパールのバラトプルの隣に山があり、そこでもたくさんの人たちが汚い水を飲んで病気になり、病院に行きたくてもお金が無くて病院に行けずに亡くなっているたくさんの20歳以下の若い人たちがいます。チトワンRCでは約500家族が住んでいる地域に水を供給しようとしていることを知り、何かできることがないかを調査するため、Enora会員、岡田(英)会員、鈴木(孝)会員などと一緒に現地に行ったところ、すごく困っているような状況でした。私はネパールに居て、紙や写真ではなく自分の目で(ネパールの人たちが困っている様子)を見えています。サポートができれば、おいしい水、良い水を飲めているかどうかの確認やプロジェクトの架け橋ができると思います。できればその地域の方たちを横須賀まで連れてきて横須賀にある会社で働いてもらいたいです。何か質問とかあれば答えます。

世界で(みんな幸せなので貧しいとは言いませんが)きれいな水を飲めず、病院にも行けずに亡くなっている人がいます。できれば、皆さんをネパールまで連れて行ってその状況を見せたいです。何か少しでも動いて始めれば嬉しいです。ネパールできれいな水を飲めるようになって元気になっている姿を見たいです。ありがとうございました。

5. 国際奉仕委員長挨拶

加藤(淳) 会員

それでは最後に私の方からご挨拶させていただきます。改めまして、岡田(英)カウンセラー、植田会員、Enora会員、竹株会員、そして最後にWosti会員、ありがとうございました。

今回の卓話より、中期ビジョンの策定委員会、VTT特別委員会の取り組みから、新たな国際奉仕のテーマ策定のヒントをいただけるのではないかとことを承って、非常に荷の重いものを任されたような気がしております。これからも、皆さまのご支援のもと、熟議を続け、11月に予定しております情報集会の中で何かご提案ができればということで進めてまいりたいと思います。皆さま、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。以上でございます。

<閉会・点鐘> 13:30 高橋 会長

週報担当 荏山 寛樹